

上京

史蹟と文化



美を創る



財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事

冷泉 貴実子

上京区今出川通烏丸東入玄武町

平安時代からの公家文化を伝える京都、その中心に上京区があり、そこに冷泉家はある。京都御所の周りに広がった公家町、その北端に歌の家の伝統に生きつづけてきたのが冷泉家である。冷泉貴実子氏は、藤原氏の一族で平安時代後期に宮廷歌人として勅撰集にもかかわった藤原俊成・定家父子を祖とし、初代為相に始まる家に生まれ、二十五代目となる夫の為人氏とともに先祖からの伝統を受け継いでおられる。師走のひととき、重要文化財に指定されている冷泉家住宅の一室で、歌の家としての美を語っていただいた。

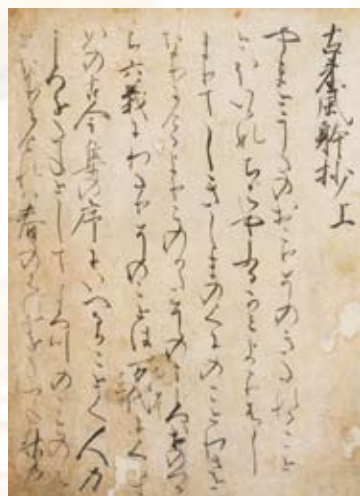
日本の美は歌から始まりました。和という考え方は、着物にしても、絵画にしても、みんな四季の美なのです。春ならば梅に鶯というのが一つのパターンなのです。春ですから木瓜もあれば、スイートピーもあります。それは和の美ではないのです。木瓜は日本の花ですから木瓜でも悪くはないと思うのですが、伝統的な和の美には入ってこないのです。まず梅が咲いて次に桜が咲くと、そこに鳴くのは鶯だと典型的な季節の決まった美があり、それは結局、和歌なのです。最初に芽を吹くのが柳で、それが「さみど

り」と表現され、そこにかかるのは霞と決まっています。

夏は卯の花に杜鵑が鳴き、秋には七草が咲き乱れ、置く露に集く虫で、そこにかかる月が秋のイメージです。やがて紅葉



冷泉邸の玄関



国宝『古来風躰抄』 藤原俊成筆

美なのです。万葉集の影響を受けていないとはいえませんが、古今や新古今が作り上げた美の世界を踏襲することによって、今の和の文化というものはあるといえます。

端的に残っているのは、お茶の世界ですが、春のお茶会の道具立てには、梅が一輪咲いていて柳が待合にあり、お茶碗のお銘はというと鶯の初音です。春の道具立てになります。その中に自分は木瓜が好きだから置くというののは、伝統的なお茶会の世界では異端なのです。

そのように、自分が違う春を喜ぶというのではなくて、昔から決められた型の中で自分も同じ春を楽しむという世界があるわけです。それを伝えてきたのが、冷泉の家だと思います。今の感覚なら自分が見た梅に鶯という感じになるのですが、和の世界では見たとか見なかったとかいう問題ではないのです。それが日本の美という世界だと思います。それを伝えてきた家であったのです。

が散る、そこに鳴くのは鹿と決まっています。それから雪が降るといのが、古今和歌集の時代に成立した

江戸時代には和の文化の源が和歌だというのが常識でしたが、明治以降はその常識が崩れていった中で難しいことになり、今ではそれをわざわざ教えないと判らないという時代になっています。それでも京都は今も和の文化でもっています。



歌 会 始



天神通

天神通、天神道、古くは西鞆負通、行衛通と、いろいろな書き方

があるようですが、街角の仁丹の地名表示板には御前通西裏、同じ一本の街路に多くの表示があると知らない人は迷います。御前通と紙屋川に挟まれた上京区で最も西にある道です。この御前通は北野天満宮の正面に通じる表参道ですが、天神通はその境内の西側に始まる脇参道といえましょう。しか

上京の史蹟 その22

天神通

し平安京では、御前通は右京の西大宮大路であり、天神通は右京二坊の西鞆負小路に当たります。本来なら御前通が天神通の名であってもよかったです。うが、実は西鞆

負小路の周辺は北野天満宮を支える重要な集落が連なっていたので

す。この由来は後述することになります。

北端は北野天満宮の梅林に始まりますが、北野消防出張所の前の広い道からが天神通というべきかもしれません。今出川通を南へ越えて六角通に至ります。正式には今の今出川通から南を天神通といっているようですが、その交点の東西は京福電車北野線が路面を走っていました。昭和三十三年に市電今出川線が白梅町まで延伸される

のに伴い、当時の西陣警察署の西側にあった北野駅から西大路通の白梅町駅の間が廃止され、それまでプラットホームだけであった駅に今の北野白梅町駅ができたのでした。

ここから南へ天神通をたどってみましょう。間もなく東側に高津古文化会館という美術館があります。映画や芝居の小道具会社、高津商会の創業者であった高津嘉之氏が

本物の小道具を求める映画監督のために、江戸時代の武具や調度品を買い集められ、その優品を公開する美術館として創設されました。

その西側には大將軍八神社の神像を収蔵する方徳殿の背面が見えます。この神社、いわずと知られた方除けの社、都の四方に祀られた大將軍堂の一つで西方の王城鎮護の神とされました。祭神としては素盞鳴尊とその五男三女、陰陽道では吉凶をつかさどる方位の神



大將軍八神社神像

で西方の星（宵の明星・金星）とされています。ここには平安時代後期から鎌倉時代に及ぶ大將軍神像八十軀が重要文化財に指定されています。革甲に冑をつけた武装の神像は類例が少なく、明治の廃仏毀釈を免れた貴重な資料といえます。皆川家に伝来した天文暦道関係の資料が京都府指定有形文化財となっています。また十月中旬の祭礼には大勢の氏子によって餅を細長く伸ばした「おろち餅」が作られます。

奥溪家住宅



奥溪家住宅長屋門



奥溪家住宅主屋

南へ進み仁和寺街道を越えると、臨済宗建長寺派の選仏寺があります。江戸時代の宝暦年間（一七五一―一六四）仏日が開基しました。中国元時代の禅僧として著名な中峰明本の画像（頂相画）が伝来し、重要文化財に指定されています。中峰和尚は天目山に住した高僧で、日本からの入元僧の多くが参禅し、その人達が持ち帰ったのでしよう。亡くなったのは至治三年

（二三三）ですから、自賛から描かれた時代は晩年と思われる。選仏寺の南、北町児童公園の向かいに、茅葺の長屋門が見られます。ここは仁和寺門跡の御典医を務めた奥溪家の住宅です。長屋門を入ったところには主屋が残っています。このあたりは西ノ京から仁和寺街道に続く交通の要衝で、奥溪家も十七世紀末に一条烏丸角から下屋敷に居宅を移して来たといわれています。正徳六年（一七一六）以前に建てられた主屋は改造を重ねたところから複雑な平面を残し

ています。長屋門は市中では珍しい茅葺で、茶室を除けば上京区内では頼山陽の山紫水明処に見られる程度です。享保九年（一七二四）の火災後、享保十一年に再建されたことが明らかにされていますが、残念なことに南三間分が取り壊され、北面の入母屋造に昔の面影が残っています。間口七間の堂々たる長屋門は下男部屋として使用され、広々とした通り土間は主屋とともに旧御典医住宅としての類例も少なく貴重な遺構です。玄関には「蘇命散」の看板を掲げた葉の販売元でもありました。

西ノ京七保社

北町児童公園には廃車になった市電の車輛が児童館として使用されていたのを覚えている方もおられるでしょう。

奥溪家の先の道を西へ入ると北側に安楽寺天満宮があります。このあたりには北野天満宮の七カ所

整形外科・外科・内科・循環器科・消化器科
皮膚泌尿器科・リハビリテーション科

医療法人社団 精和会

御所東クリニック

診察時間 月～土 午前9:00～午後12:30
午後6:00～午後8:00
(土曜日は午前のみ診察です)

上京区寺町通今出川下ル扇町268

TEL 211-8441

歴史文字シリーズ

伝達浪漫

紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御堂前上ル TEL.075-441-5408代
E-mail:info@wako-print.co.jp



瑞 饋 神 輿



安 楽 寺 天 満 宮 (一ノ保社)

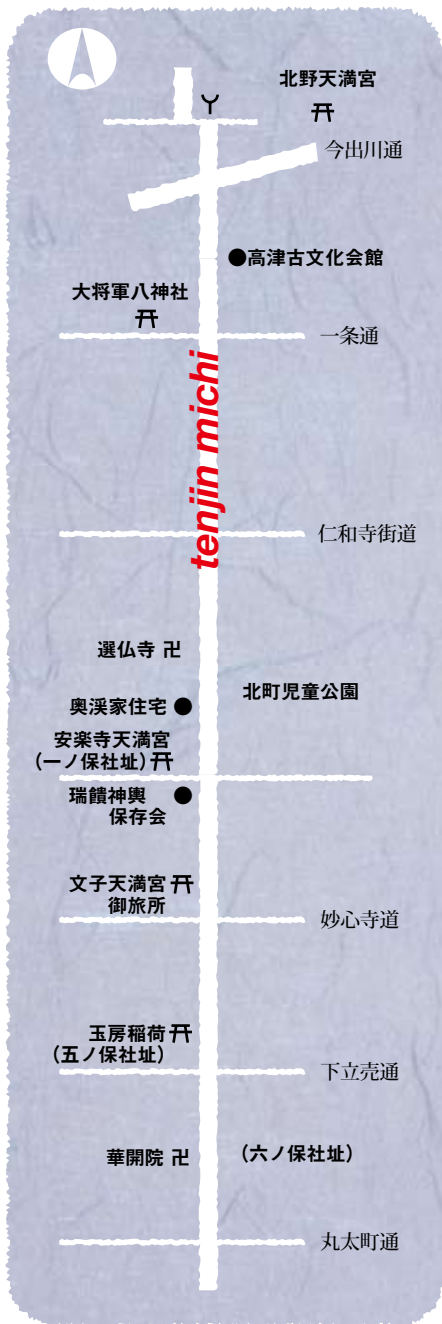
の御供所ごくしょがあつて七保ななほといひました。その一ノ保のあつたところが安楽寺です。俗体で北野天満宮に奉仕する下級神職の西ノ京神人にしんじんが集住していた地域です。その始まりは菅原道真が太宰府で自ら彫られた木像を、亡くなつたあと延喜五年(九〇五)に西ノ京神人の祖先が京都へ持ち帰り、この地に安楽寺の小祠を建てて祀りました。これが京都における最初の天満宮だとされます。すべての七保社は幕末に廃され、北野天満宮の境内へ移されました。今も縁りを示す石碑が立ち、熊鷹稲荷などの小祠が残されています。神人の子孫の家が私有地としてその遺址を守つておられます。

南西角に「西之京瑞饋神輿保存会集会所」と書かれた板札が掲げられた集会所があります。その敷地内には梅鉢紋の扉がある倉庫も見られます。ここは十月の瑞饋祭ずいきみこしに巡幸する北野の瑞饋神輿ずいきみこしの製作を伝える保存会が作業をする場所なので。瑞饋祭は北野天満宮の御神霊が氏子を巡行して御輿岡の御旅所に留まれる神幸祭なのです。芋茎ずいきで屋根を葺き野菜を飾り付けた瑞饋神輿が御旅所に供えられるので瑞饋祭といわれます。もと西ノ京は近郊野菜農業地で、生産した野菜を市中へ供給していたのです。その産物を御旅所の神前に供えたのが始まりで、台枠に神輿の姿を作り上げるようになったと思われます。五穀豊穡を感謝する秋祭に由来し、現在は西之京瑞饋神輿保存会の人々により、江戸時代から受け継がれてきた技術を生かして、その年の話題に趣向を凝らした神輿を整えており、額や鳥居の鏡などに、その年の世相が写し出されています。昨年はゲゲゲの妖怪も見られました。



文 子 天 満 宮 御 旅 所

このあたりは西町・北町・東町などの町名がありますが、本来はこの上に「西ノ京」が付いていたのです。今、西ノ京というと中京区の西部の町名に用いられています。これは大正七年に葛野郡朱雀野村かしの せせくのを京都市へ編入した際に字名の上に西ノ京をかぶせて下京区の一部としました。なお、この地域は現在の朱雀第一―第八学区で、昭和四年に新しく設置された中京区に編入されました。そのために西ノ京の地名が本来と違つた地域で使われるようになったのです。七保会や瑞饋神輿会の人々は今も西ノ京の地名に誇りをもつておられます。さらに南下しますと妙心寺道の手前に「文字天満宮御旅所」という石標の小祠があります。ここは菅原道真の霊を神託によつて祀つ



たという巫子、多治比文字に由来する社があったところですが、明治六年に本社に遷し、その後にも小祠を営んだといひます。

もつと南へ行きますと行衛町といひますが、これは平安京の鞆負小路に当てた町名です。ここには玉房稲荷という額の架かつた赤い鳥居が目につきます。ここにも小祠があつて五ノ保社の遺址です。

下立売通の南にある浄土宗華開院は、もと大宮寺之内にありましたが、応仁の乱に罹災したあと、寛文八年（一六六八）に移つてきました。もともと南北朝時代の勅

願寺で、皇室関係や尼門跡の墓地となつています。

華開院の向かいあたりが六ノ保社があつたところでしたが、今では全く痕跡を残しておりません。これ以外の七保社も天神通周辺にあつたのですが、今では全て姿を消し神霊は本社に合祀されています。

この先、天神通は六角通まで続き、中断してさらに五条通から八条通の先まで、その名を受けついでいます。天神通のすぐ西は紙屋川で、御土居によって区切られた洛中の西端になります。そのため



玉房稲荷（五ノ保社）

この道の周辺には市中から移転して来た寺院によって西の寺町を構成したといえるかもしれません。

（出雲路敬直）

柔道圓心道場

〒602-0014
京都市上京区室町通寺之内上ル下柳原北半町 210
TEL (075) 441-1968 / FAX (075) 441-2972

山崎接骨院

〒602-0898
京都市上京区烏丸通寺之内西上ル相国寺西門前町 647
TEL (075) 451-6050 / FAX (075) 451-6051
<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>

新・古茶道美術品

清昌堂

やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル
〒602-0061 TEL (075) 431-1366
FAX (075) 431-1370

東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8
〒162-0856 TEL (03) 5261-4566
FAX (03) 3235-5677

「同志社今出川キャンパス今・昔」

薩摩藩邸跡

新島襄は、一八七五（明治八）年十一月二十九日丸太町通寺町上ルの仮校舎で同志社英学校を開校しました。ところが翌年九月には今出川キャンパスに移転します。今から一三六年前の事です。

実は、現在同志社が所有するこの地は、歴史上とても重要な地でした。時代を遡ると、そもそもこの土地は、室町幕府第三代足利義満と関係の深い相国寺が所有していました。相国寺の開山は一三九二（明德三）年であり、約六二〇年前のことになります。

ところが約四〇〇年後に京都に大きな被害をもたらした天明の大火（一七八八年）で、相国寺も火災の被害を受けました。この地にあった塔頭も焼け、やがて藪地となります。幕末、この藪地に目を

つけたのが薩摩藩でした。

一八六二（文久二）年、

薩摩藩は相国寺との間でこの土地の借用に関する契約を結びます。そして翌年、屋敷が建設されると、幕末の一つの大舞台となります。坂本龍馬を代表とする多くの幕末の志士がこの藩邸を訪れました。

ところが、明治新政府が成立すると、薩摩藩邸址は政府の行政改革で一度は京都府に上地されます。その後、民間に払い下げられ、最終的に新島襄が購入することになりました。今では五つのレンガ建築の重要文化財が並ぶ洋風のキャンパスからは想像がつかない歴史ではないでしょうか。



薩摩藩邸跡碑 右手後方の建物は京都最古のレンガ建築物である彰栄館（重要文化財）

しみじみと心のかよう 贈りもの

<http://www.toraya-group.co.jp/>

虎 トラヤ

¥2,500で食べ・飲み放題!!
プランディアのディナーbuffet
 "PRANDIA" DINNER BUFFET

京都ロイヤルホテル&スパ1階のレストラン"プランディア"では、2ヶ月毎にテーマを設けて、ディナーbuffetを開催中。
 約20種類のお料理と4種類のアルコール&ソフトドリンクが食べ放題・飲み放題で、お1人様なんと¥2,500!! ぜひお気軽にご利用ください!

毎日 17:30~21:00 (90分制: 17:30~/18:00~/19:30~/)

食べ放題+飲み放題 お1人様 ¥2,500

※表記料金にはすべて税金・サービス料を含んでおります ※ご予約優先
 ※各種割引・他券等との併用不可 ※写真はイメージです

ご予約・お問合せ: レストラン"プランディア" Tel.075-223-8973 (直通)

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

京都ロイヤルホテル & スパ

クラーク記念館

五つの重要文化財のなかでも、キャンパスのシンボルとして親しまれているのがクラーク記念館です。設計は、明治初期に司法省や東京裁判所を設計したことで知られるお雇い外国人のR・ゼール

です。

建設の契機は、一八九〇（明治二三）年に永眠した新島襄を偲んで、卒業生らが「記念神学館」建設の募金活動に着手した時です。しかし、思うように寄付金は集まりませんでした。ところが翌年、アメリカでB・W・クラーク夫妻がアメリカン・



創建当時のクラーク神学館

妻がアメリカン・ボード（海外伝道団体）へ、夭逝した息子（B・S・クラーク）を記念する建物の資金として一万ドルの寄付が寄せられました。その一万ドルがボードを通じて同志社へ寄附され、神学館建築資金となりました。館名の由来はここにあります。クラーク記念館は二〇〇八年、大



復原されたクラーク・チャペル

規模な解体工事を経て、創建当時の姿に復原されました。代表的なものが「クラーク・チャペル」です。このチャペルは、二つの教室に改造されていました。特徴的な船底天井も復原されました。今では、礼拝をはじめ、講演会や結婚式などに広く利用されています。B・W・クラーク夫妻と明治の同志社卒業生の思いは、一一八年を経た今もなお、建物とともに生きていくのです。



—いつも新しい感動を—

京都御所西、閑静な住宅街に溶け込むシックな外観。
さわやかな水のせせらぎが聞こえ、
やわらかな自然光がふりそそぐアトリウムロビー。
7つの多彩なレストラン&バーで、
ブライトン流のきめ細やかなサービスをお届けします。

(客室) 182室
(レストラン&バー)
●京懐石「養(はなる)」●鉄板焼「燻(ひもろび)」
●フランス料理「ヴィ・ザ・ヴィ」●テラスレストラン「フェリエ」
●ラウンジ「クワイ・オミディ」●中国料理「花蘭(かかん)」
●メインバー「ムーンシャイナー」



京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
TEL.075-441-4411(代) FAX.075-431-2360
ブライトンホテルズホームページ
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>



本家 玉壽軒

〒602-8435 京都市上京区今出川大宮東入
TEL (075) 441-0319・414-0319

上京の埋蔵文化財

—平安宮の遺跡—

肉酒殿と侍従所の調査

智恵光院通下立売通の交差点北東には平安時代の釜所、内酒殿、侍従所と呼ばれる役所がありました。この一帯は天皇が住まわれた

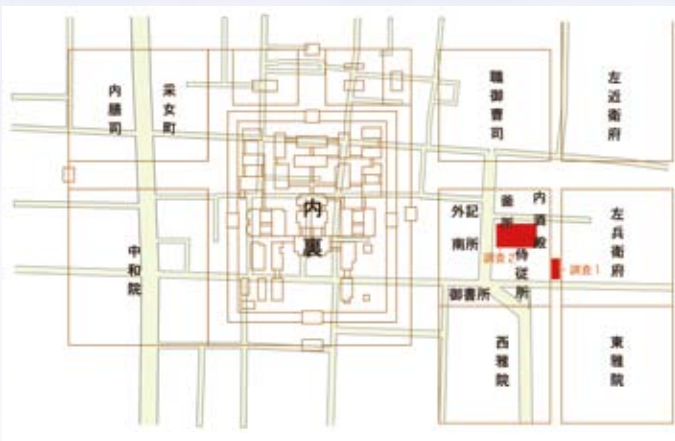


図1 内裏周辺と調査位置図

智恵光院通下立売通の交差点を五〇mほど東にいった北側で一九七七年と二〇〇九年に民家の建て替えに伴って発掘調査を実施しました。(図1の調査1・図2)

侍従所の調査

内裏のすぐ東側に位置し、外記、南所、御書所、釜所、内酒殿、侍従所が占地されていたとされ、天皇の家政機関が配されており、内裏と深く関わっていました。なお、侍従所は天皇に側近奉仕する侍従の詰所であるとともに公卿以下の宴酒歌舞や外記政後の飲酒の場であり、内酒殿は内裏に納める酒を造っていた役所です。

この場所は侍従所と左兵衛府の間で櫛笥小路の北延長部の宮内道路にあたります。調査では、その道路の西側溝と路面を検出しました。この西側溝は大別して二層に分かれ、上層からは平安時代中期の遺物が、下層からは平安時代初期の遺物が大量に出土しました。

出土した遺物

平安時代の遺物の大半は西側溝から出土しました。側溝上層出土の遺物中には土師器坯の内面に仮名書きの和歌を墨書したものもありました。(図3) 和歌は『□のまにわすられ にけむ あ□みちは ゆめの □□は□ □□□なり』と読み、「書風から、小野道風の晩年の時代より下ることはなく、男性の仮名書きの日常体と思われる」と専門家は指摘しています。また、側溝下層から出土した土師器底部の外面に「主馬」という墨書された土器がありました。「主馬」の墨書例は平城京で



図2 侍従所調査



図3 侍従所出土墨書土器(和歌)



図4 侍従所出土刀装具

もあり、左右の馬寮が天応元年（七八二）以降主馬寮として統合され、また大同三年（八〇八）に元へ復帰していることから平安京では遷都した延暦十三年（七九四）から大同三年までのものと限定でき、下層の土器群がこの時期のものであると言えます。また、下層からは土器類だけではなく、**輔羽口・とりべ・砥石・石材剥片辺・刀装具未製品（図4）**など手工業生産を示す遺物もあり、内裏内で使用されるものを作っていた可能性が高くなりました。

内酒殿の調査

智恵光院通下立売通の交差点を少し北上がった東側で一九九七年に京都市出水サービスセンター建設のために発掘調査を実施しました。（図1の調査2・図5）この場所は『宮城図』から釜所と内酒殿の南、侍従所の北端にあたります。発掘調査は平安宮内では大規模な一〇六〇㎡という広さ



図5 内酒殿調査全景

でした。調査区中央部の大半が江戸時代の土取穴のため平安時代の遺構は残存していなかったのですが、調査区北端と西端で平安時代の遺構を検出しました。また、江戸時代にかんりの規模で聚楽土と呼ばれる土を採集した土取穴の形跡がみつかったことは、江戸時代以前には、ここに聚楽土が残存していた証拠です。調査地の西隣にある松林寺境内には聚楽第の堀跡と思われる地形の下があります。この続きが調査位置まで東に



図6 左…井戸発掘調査風景 右…内酒殿井戸

伸びてくると思われていました。しかし、聚楽第の堀の幅や深さを考えると、堀が調査地に延びていたら聚楽土が残ることは考えられず、智恵光院通手前で止まることが想定されます。

平安時代の遺構

平安時代の遺構は調査地西端で一辺六〇〜八〇cmの方形の柱穴を七基以上検出しており、平安時代初期段階の官衛内の中心建物の可能性があります。また、調査区北

東部では、平安宮内で初めての井戸を検出しました。（図6）この井戸は大きさが東西五・三m、南北五・六m、深さは約七mもある巨大で大変深いものとなりました。井戸枠は井籠組と呼ばれる厚板を横向きにして組み合わせ積み上げる構造で一辺の長さが二・一mありました。内裏付近は台地上にあるため、深く掘り下げ、より清らかな水を得ようとしたものと思われる。井戸は平安時代前期

耳鼻咽喉科 鈴木医院

京都市上京区中立売通堀川西入
441-0675

診察時間 午前9時～12時
午後4時半～7時半

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	×	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

祝休診

4N
当院
堀川通
中立売通
京都中央
信用金庫

前半に作られ、平安時代前期の終り頃に使われなくなりゴミの捨て場になったことが、遺物からわかりました。また、井戸からは大量の土器類や瓦類が出土しました。その中には「南曹」や「東曹司」などの墨書がある土器や銭貨（富寿神寶）などととも井戸の掘形からは、注目すべき木簡が出土しています。

井戸掘形出土の木簡

この木簡は、平安宮内で見つかった最初のもので長さ十八・三cm、幅三cm、厚さ五mmに役所名・物品内容・年月日・差出人などが書かれています。(図7)その内容は「内酒殿に作業員二名分の食料、米八升を支払うようお願い申し上げます。一日の食料は作業員一人につ



図7 内酒殿出土木簡

き、米二升となっています。山作りの時の応援に行かせた作業員の方です。弘仁元年十月十八日 宮中の雑用を行い大舎人の□□□より」というものです。ここから、まず木簡が出土した井戸が内酒殿にあったこと、山作りに関った夫(作業員)の食料の請求を示すものであること、当時、その作業員の労賃は一人一日に付き米二升であり、二人で二日分の労賃を請求をしていることがわかります。大急ぎの山作り作業があり、緊急に他の役所に応援を求め、その代償を山作りに関った大舎人(おとわり)が内酒殿に請求したものと考えられます。嵯峨天皇は大同四年(八〇九)に即位しますが、翌年九月六日には上皇となった平城上皇と愛妾の藤原薬子や、その兄である藤原仲

成などが平城京への遷都を企てた、いわゆる「葉子の変」がおこります。嵯峨天皇側が直ちに、この変をおさめ、九月十九日には年号を「弘仁」と改めています。そして、弘仁元年(八一〇)十一月十九日に朝堂院で大嘗祭が行われています。木簡に記された期日はこのように慌ただしい中の時期にあたるもので、山作りそのものも大嘗祭に関係するものかもしれません。

おわりに

このように、土の中から発見される木簡という一つの出土品で、遺構の年代、当時の役所の位置や労賃などを知ることができ、平安時代の様々な情報を我々に知らせてくれます。今後も地道な発掘調査を続けることで、貴重な資料の成果を積み重ねることができ、平安京あるいは京都の真の姿を甦らせることができるようになると思われれます。

永年の信用
まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社/京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000
フリーダイヤル ☎0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

◆ 葬儀 式場 ◆

北プライトホール(堀川紫明)京都市北区紫明通堀川東入 ☎075(414)0420
中央プライトホール(五条大和路)京都市東山区五条通大和路 ☎075(551)5555
南プライトホール(堀川八条)京都市南区堀川通八条下西側 ☎075(662)0042
西プライトホール(五条西大路)京都市右京区五条通西大路西入南側 ☎075(322)0042
烏丸プライトホール(因幡薬師)京都市下京区烏丸高辻南入東入 ☎075(351)7724
宇治プライトホール(宇治横島)宇治市横島町(京都文教大学前) ☎0774(20)0042
滋賀プライトホール(大津)大津市朝日が丘1丁目 ☎077(523)0042

みんなで花を 咲かそう活動



昨年11月、日頃から熱心に水遣りや手入れを続けているボランティアの皆さんの手によって、上京区役所玄関前の草花が冬の装いとなりました。



6月に動物などのかたちをしたトピアリーフレームが設置されたゴールドクレストも、今夏の酷暑にも負けず、ゆっくりとではありますが確実に愛らしい姿に成長し続けています。

園芸や環境に興味があり、継続して草花の手入れをしていただける方は、お気軽に区役所まちづくり推進課まで御連絡ください。

区役所まちづくり推進課(電話441-5040)

上京 茶会



11月7日、毎秋恒例の「上京茶会」が、北野天満宮
明月舎にて、裏千家による
懸釜で開催されました。

北野天満宮は、区民の皆さんから「天神さん」の愛称で広く親しまれており、また、豊臣秀吉により北野大茶会が開催されたことで有名であり、それを縁と



した献茶祭が現在でも続けられているなど茶の湯文化にも馴染み深いところです。
例年にも増して多くの方々が来場され、穏やかな秋空のもと、風情豊かなお茶を楽しみました。



上京薪能

今回で第46回目を迎えた「上京薪能」が、9月21日、白峯神宮で開催されました。

第一部では、各社中による舞囃子、仕舞、琴演奏が披露され、第二部では、火入れ式を執り行った後、いちひめ雅楽会舞楽「打毬楽」、宮城社・麻ノ会琴演奏「琉球民謡による組曲」、金剛流仕舞「玉之段」、観世流舞囃子「安宅」、大蔵流狂言「因幡堂」、観世流能「殺生石」などが上演されました。夕闇を照らすかがり火のもとで繰り広げられた幽玄の世界に、多くの来場者が魅了されました。



上京区民ふれあいまつり 2010

「上京区民ふれあいまつり2010」が、10月24日に翔鸞小学校で開催されました。各学区・団体による模擬店では、もちつきや葉ぼたんの無料配布などがあり大盛況でした。



また特設ステージでは、上七軒の舞妓さんによる舞や翔鸞小学校児童による鍵盤ハーモニカの演奏・合唱などが行われ、子どもからお年寄りまでたくさんの方々が集う楽しいおまつりとなりました。



上京区民ふれあい文化大学

多様な文化への関心を高めることを目的に「上京区民ふれあい文化大学」が、9月18日に、上七軒歌舞練場にて開催されました。

今回は、約60年ぶりに大改修された歌舞練場を見学するとともに、花街文化研究会代表の太田達氏（「老松」当主）に京都最古の花街である上七軒の歴史や京の花街文化についてお話をいただきました。

後半には舞妓さんによる華やかな舞の披露があり、とても充実した講演会となりました。



上京区民ふれあい史蹟ウォーキング

11月28日に「上

京区民ふれあい史蹟ウォーキング」が爽やかな秋空の下、開催されました。

今回は、区内

から飛び出す企画を立て、京極小学校をスタートし、河原町通から葵橋を渡り、「下鴨神社」そして加茂川河川敷を北上し、「上賀茂神社」までの約5.5キロを歩きました。

参加者は、それぞれの神社の歴史説明を受け、加茂川畔の美しさを眺めながら、心地よいウォーキングを楽しむことができました。



●表紙の題字 吉川蕉仙先生

上京区 130 周年を記念して、題字を上京区在住の書家 よしかわじょうせん 吉川蕉仙先生に、きごう 揮毫していただきました。先生は京都学芸大学（現京都教育大）卒、学生時代より日展に入選入賞を重ねられ、平成 19 年には内閣総理大臣賞を受賞されました。

現在は京都橋大学名誉教授、日展評議員、京都書作家協会顧問等を務められ、活躍されています。

宴会・婚礼・会議
宿泊・レストラン

あじわい

¥5,000(税サ込)

ホテル

ルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町
TEL 075-432-6161(代) FAX 075-432-6160
<http://www.rubino.gr.jp/>



レストラン

11:30~14:00
毎週日曜日はお得な
ランチバイキングを
しております

おひとり

¥1,200(税込)

元祖

ぼたん鍋と
京料理

畑かく

京・上御霊前烏丸西

〒605-0841・0842



酢一筋の商い、伝統の滋味。

伝統から未来へ

京・西陣 孝太郎の酢

(有)林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455

TEL (075) 451-2071

FAX (075) 451-8028



花にまつわるエピソード…



季節も添えて演出します。

心こもった贈り物 Flower Gift
~花束

アレンジメント
グリーンバスケット
スタンド花 etc.~

フラワーアレンジメント教室 開催中!

本店 京都市上京区烏丸通今出川下ル tel 075-414-8700
fax 075-414-7787

フリーダイヤル 0120-46-8700

本店 2F フリザーフードフラワー専門店 11/1 open!
長岡店 長岡京市 1丁目セブン通り tel&fax 075-957-0187
大津店 大津市ロイヤルオークホテルS/B&Gガーデン内 tel&fax 077-545-5587

<http://www.hanakobo.co.jp>



創立以来七十六年に
わたって、
和やかな家庭的な
雰囲気包まれつつ
就学前教育の
本流をめざして、
保育を続けて
参りました。
幼児たちは
楽しい遊びを通して、
人生に必要な生きる
力のすべてを手にします。

学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

http://homepage3.nifty.com/kyotokitano_k/

京料理

はる

春日神

かみ

昼…コース 二、一〇〇〇
夜…コース 四、二〇〇〇
夜はアラカルトメニューもございます。

営業時間

昼…十二時~十四時三十分

(ラストオーダー十四時)

夜…十七時~二十時三十分

(ラストオーダー二十二時三十分)

〒604-1801-04

京都市中京区先斗町四条上ル柏屋町一六九-13

電話 〇七五-1222-1001-1

FAX 〇七五-1222-1001-5



「上京・史蹟と文化」は上京区役所まちづくり推進課で販売致しております (TEL 441-5040)
また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。

ふれあって 住民の知恵を生かした 地域づくり

—お隣り同士のふれあいを大切に—

春日学区では、「自治」「福祉」「防災」を
三位一体とした地域活動を展開しています。

NPO 法人 春日住民福祉協議会



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
(2011年4月開設予定)



Doshisha University
同志社大学
<http://www.doshisha.ac.jp/>

お問合せ先 同志社大学 企画部 広報課 TEL:(075)251-3120

社会福祉法人市原寮

か ゆう 花友じゅらくだい

京都市上京区中立売通智恵光院西入多門町 445-4
(智恵光院中立売バス停前)

Tel (075)451-6000 Fax (075)451-7770

花友じゅらくだいデイサービス

Tel (075)451-6015

ホームヘルパー養成校
食育文化サロン
福祉・医療国際研究センター

<http://www.itihara.or.jp>



名物ゆどうふ
南禅寺 **ゆどうふ**
JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311
<http://www.to-fu.co.jp>



CH
A
n
o
K
A
お濃茶
Langue de Chat
OKOICHA
LANGUE DE CHAT

MALEBRANCHE
京都 北山

京都限定

洋菓子 マールブランシュ 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前 TEL(075)722-3399・FAX(075)702-9440
9:00AM~9:00PM 年中無休(喫茶10:00AM~8:30PM) <http://www.malebranche.co.jp/>